GIMP(GNU Image Manipulation Program)

開発元: GIMP開発コミュニティ

ライセンス: GNU General Public License（GPL）

GNU General Public License とはGNUプロジェクトのためにリチャード・ストールマンにより作成された自由ソフトウェアライセンス

対応プラットフォーム: Windows、macOS、Linuxなど主要なOS

GIMPプロジェクトは1995年に始まり、1996年1月に最初のリリース(ver 0.54)がなされた。

もともとウェブ用のグラフィック編集を想定して開発されたソフトウェアで30種類以上の画像フォーマットをサポート、プラグインやスクリプトによる広範な拡張性、画像サイズやアンドゥ／リドゥ回数が無制限、外部プログラムによるコントロールなど、拡張性と機能性に富んでいる。近年のバージョンでは、ドロー系の描画だけでなく基本的なベクタ系の描画もサポートされるようになった。

GIMP主な機能

①：画像サイズの変更

②：切り抜き

③：文字入れ

④：写真加工(レタッチ・色や明るさ変更)

⑤：背景透過

⑥：モザイク処理

⑦：GIFアニメの作成

GIMPを使うメリット

・スペックの低いパソコンでも使える

・PSDファイルに対応している

・高機能な編集が可能

GIMPを使うデメリット

・拡大・縮小で画像が荒くなる

・印刷物の作成に不向き

・立ち上げに時間がかかる